

ク ロ ー バ ー

Clover

VOL.36

2021 年夏号



株式会社 さち コーポレーション
グループホーム さち

ホーム長のご挨拶



8月8日、2度目の東京オリンピックが無事閉会を迎えました。新型コロナウイルスの感染拡大により開催が1年延長され、無観客試合の実施や様々な問題が浮上して開会式直前までドタバタとし、本当にきちんと開催できるのかと私も複雑な気持ちを抱えていました。ですが大会が始まり、テレビの向こうで繰り広げられる選手たちの熱い戦いを観ているうちにそんな思いは掻き消え、夢中になって応援していました。

還暦もいくつか過ぎた私たち世代の方々の中には1964年の東京オリンピックの情景を思い浮かべながら観戦された方も多いのではないのでしょうか。

前回の東京オリンピックは1964年10月10日、旧国立競技場で開会式が行われました。史上初のアジア開催と戦後復興の象徴という意味を持ち、再び日本が国際社会の一員として歩いていく大変重要な場面を当時8歳の私は炭釜の長屋で観ていました。まだテレビが普及していない時代でしたが、父がこの日のために奮発して購入し、近所の方々が大勢集まって一緒に応援したことを鮮明に覚えています。日本全体が一丸となって総力を挙げて迎えたあの日の緊張感と感動を忘れられません。

あれから57年、「東北震災復興とコロナに打ち勝て」をテーマとして開催された2度目の東京オリンピック。57年前と比べ、今回のテーマについて国民全体が納得し、一丸となっていたかは私個人としては疑問がありますが、オリンピックに向けて鍛錬を積んだ選手たちや、開催に向けて実直に働かれた方々の努力は57年前の人々と同じかそれ以上だと思います。困難ばかり続いて開催も危ぶまれていましたが、制限があってもそれ以上のパフォーマンスやサービスを届けようという創意工夫が至る所に見受けられ、「日本もまんざらじゃないぞ！粘り強く頑張っているぞ！」という強いメッセージを感じました。

競技についても新たな種目が増え、既存の種目でも年々ルールが変更され、難易度が上がっていき、それを並々ならぬ練習量で越えていく選手たちを見ていて、人間の進歩と進化に驚くばかりです。

どんなに強い選手たちや開催者も一人では東京オリンピック開催までこぎつけることはできないはずです。「必ずできると自分を信じ、人を信じ助け合っていく」という姿を選手やサポーターの方々の姿を通して学んだように思います。

オリンピックは終わってしまいましたが、8月24日開催のパラリンピックの応援も楽しみにしています。

さちの日々是好日

このコーナーではさちの日常のひとつをご紹介します。

新型コロナウイルスが流行し終息の兆しがみえないなか、それまで当たり前だった外食やお出かけが難しい日々が続きますが、ご利用者様と相談したりアイデアを出し合いながら「当り前の日常」が行えるように日々を過ごしています。

今回はそんな日常の一場面をご紹介します。



うめユニットのベランダでは野菜の栽培では超ベテランのご利用者様が職員に指導をされながら野菜を植えて下さいます。「トマトはこうやってつるを支柱に結ぶだ〜」と、てきぱきこなされます。お陰様で今年も美味しいミニトマトができましたよ☆

テレビでバドミントンの試合をご覧になっていたご利用者様が「私もやりたいですね〜。娘と昔やっていたんだよ」と仰るので、バドミントンではないですが簡易的な卓球をおすすめすると「卓球もいいですね！やったことありますよ」と、職員や仲の良いご利用者様と熱戦を繰り広げられました！お二人とも笑われながらも真剣な表情でラリーを続けられました。



梅雨の時期には毎年お世話になっている、豊田市の鞍ヶ池公園近くにある「紫陽花の小道」へ紫陽花鑑賞ドライブをしました。道の脇に様々な種類の紫陽花が植えられており、なんとも見事な光景に皆様身を乗り出してご覧になりました。「色んな花があるね〜。こんなに植えるのは大変だった

だろうね」と感心しきりです。帰り道では皆様紫陽花の花の様に素敵な笑顔になられ、リフレッシュされたようで良かったです。

まだまだ安心できない時世が続きますが、今後もご利用者様と楽しく穏やかに暮らせるよう創意工夫をしていきたいです。

あっちこっちそっち

このコーナーは、グループホームさちの活動をご報告いたします。

母の日の BBQ 大会 (5月)

本来ならば、ご家族の皆様やボランティアの方々をお招きし、毎年賑やかに行われる母の日の BBQ 大会ですが、今年もごちんまり。駐車場で職員が“ジュージュー”お肉を焼いていると、「バーベキューか、いいなあ♪」とニコニコされながら M さんが様子を見にみえました。 Tongue をお渡しすると、「昔はよくやったよ」と、 Tongue で手際良くお肉をひっくり返して下さり、今年も炭火の香る美味しいお肉をたっぷり頂くことができました(^^♪



父の日 (6月)

父の日という事でイベントを開催しました♪マジックショーでは「どうなっとるだ〜?!」と普段物静かな方も目を見開いて驚かれています。ペルー出身の職員による圧巻のサンバには皆さんも大盛り上がり!立ち上がって一緒に踊られる方もみえました♪最後に皆さんお得意の“炭坑節”をさちの名物芸者の「冷奴さん」と共にノリノリで踊られました。たくさんの笑顔がみられた会となりました(^^♪



七夕 (7月)

今年もさちの七夕では、笹の葉に利用者様、スタッフが真剣に願い事を込めた短冊と飾り付けを行い綺麗な笹の葉飾りが出来ました。今回は七夕祭りという事でミニ縁日を開き射的や綿菓子を行いました。射的では的を目指して打ち商品をゲット。的に当たると「やったー」と喜んでみえました。綿菓子では、初めての体験でしたがくるくると出てくる餡の綿を棒に巻き付け上手に作ってみえました。「甘くて美味しいね」と笑顔いっぱい楽しんでみえました。短冊に書いたお願い事が叶うといいですね。



さちのつぶやき

ここでは、グループホームさちで聞こえたつぶやきを少しずつご紹介します。

支え合い

これまでは月に数回でもご家族に会えば心が安らぐ…と言われてた方々も、コロナ禍により当たり前の日常が変わってしまいました。そんな状況を見て「いつになったら家に帰れるの?」と不安をあらわにするご利用者様。するとすかさず周りの方が「しょうがないわよ、皆一緒だよ」「悪く考えちゃいかんね、いいこと考えんと」と。誰かに会いたい気持ちは皆さん同じですが、利用者様同士でも励まし合い支え合っていたりしゃいました。



大好物

ある日、テレビで麺類特集の番組を真剣に観ていたWさん。職員が声をかけると「いいね～、美味しそうだね～」とにこにこされていました。どの麺が一番好きか尋ねますと、丁度テレビの画面に映し出されていたそうめんを見て「そうめんが一番いいね」と答えられました。うどんは?と再度尋ねますと「うどんは太いから細いそうめんがいい」と言われましたが、どの麺もやっぱり好きな様でした。今度そうめんを食べましようとお話すると嬉しそうに「大盛がいいね!」と言われていました。



言葉の習慣

いつも笑顔で元気なイメージのUさん。ご長寿ですので、お身体の変化は日々あるのですが、ご入居当初から変わらず素敵だなと思っているのがUさんが話される「お言葉」です。Uさんは時間があるといつも「ありがとう、ありがとう」と、お経のように唱えてみえます。もちろん利用者の皆様や職員にも「ありがとね!」と感謝の言葉を絶やしません。Uさんにとってはごく自然な昔からの習慣だと思うのですが、ぜひ見習いたい素敵な「言葉の習慣」です。



癒しの時間 Lesson33 スパイシーいちじくコンポート

今年も厳しい暑さが続いていますますが皆様体調は崩されていないでしょうか？まだまだ猛暑は続きますが、時々夜空を見ると秋雲に似た雲が浮かんでいたり、日没も少しずつ早くなってきたりとうっすらと秋の気配を感じる場面があります。

今回は夏から秋にかけて旬を迎えるいちじくとスパイスを使った、甘いけれど爽やかなデザートレシピをご紹介します☆

<材料>

- ・いちじく 3つ
- ・砂糖 いちじくの重さの15%
- ・水 50cc
- ・白ワイン 大匙 2杯
- ・レモン汁 大匙 1匙
- ・刻み生姜 小匙 1/2杯
- ・カルダモンパウダー 一振り



- ① いちじくは皮をむいて半分にカットし、砂糖を全体にまぶして 20 分ほど置きます。
- ② 鍋に①のいちじくが重ならないように並べ、白ワインと水を入れて中火にかけます。
①で出てきたいちじくの水分も一緒に入れます。
- ③ 沸騰してきたら弱火にし、アルミホイル等で落し蓋をしてさらに 10 分程煮込みます。
- ④ ③にレモン汁を入れて鍋を回して全体に馴染ませたらいちじくだけを別の容器に移します。
- ⑤ 鍋に残った煮汁に生姜とカルダモンパウダーを加えて中火にかけ、沸騰したら火を止めて④の容器に移し、いちじくと馴染ませます。
- ⑥ 冷蔵庫で冷やして完成です。

使ういちじくは熟れすぎたものより固めの物が煮崩れしにくくておすすめです。冷蔵庫で保存すれば 10 日ほど日持ちします。

いちじくの青さと少しのスパイシーさを含む乳香に合うように、爽やかな生姜とカルダモンを合わせてみました。白ワインを赤ワインにし、スパイスをシナモンとチリペッパーにしても美味しいと思います。色々な組み合わせを楽しんでいただけたらと思います。

サポーターさん募集

グループホームさちではサポーターさん（ボランティア）を募集しています。現在は新型コロナウイルスが流行中のため、屋外でのボランティアさんのみ募集しております。庭の手入れや窓ふき、車の手入れなどなど。ぜひご興味ございましたら、グループホームさちまでお問合せ下さい！



<お問合せ先>

グループホームさち

電 話：0565-35-0805

メール：sachi@eco.ocn.ne.jp

担 当：神谷

編集雑記

新型コロナウイルスのワクチン接種を利用者・職員全員無事に2回とも終えることができました。副反応を少し心配していましたが、それほど若くないので微熱程度で済むだろうとやや楽観視していたら、2回目の接種で高熱が数日続いてしまいました。若い人ほど副反応が出やすいと言われていたので、私もまだ若い部類に入るんだなとポジティブにとらえています。とは言え、できるなら3回目の接種がないことを祈るばかりのワクチン接種体験談でした。（真理）

発行／株式会社さちコーポレーション

〒471-0067 愛知県豊田市栄生町3-58 ☎0565-35-0805

<http://www.e-sachi.co.jp/>

発行責任者／神谷 幸子

発行日／2021年8月10日（発行予定月：2月5月8月11月）